



5月号

吹田市立豊津西中学校

令和7（2025）年5月2日



『失敗学』から学ぶ



校長 森田 直樹

5月に入りました。日本では、旧暦5月を皐月（さつき）と呼び、現在では新暦5月の別名としても用いられています。『日本書紀』などでは、「五月」と書いて「さつき」と読ませており、「さつき」を皐月と書くようになったのは後のこと。とのこと。なお、旧暦の五月は新暦では6月から7月に当たり、梅雨の季節です。五月雨（さみだれ）は梅雨の別名で五月晴れ（さつきばれ）は本来梅雨の晴れ間のこととされています。

さて、入学式・始業式から、1か月が過ぎようとしており、生徒たちも新学年・新クラスに慣れてきたようです。特に1年生は中学校に馴染み、クラブ活動への本入部も済ませ、授業も専門的になってくるなど、中学校生活が本格的に始まり、学校全体としても動きが出てきました。同時に、学校生活への『慣れ』が『油断』に繋がり、「間違い」や「失敗」を起こし始める時期でもあります。

ここで標題の『失敗学』という、事故や失敗が発生した原因を解明し、重大な事故や、失敗が起きることを未然に防ぐための方策を追求する学問の紹介をしたいと思います。「失敗学」では、失敗の種類は大きく『①織り込み済みの失敗。ある程度の損害やデメリットは承知の上での失敗。②結果としての失敗。果敢なトライアルの結果としての失敗。③回避可能であった失敗。ヒューマンエラーでの失敗。の3つに分けられる。』とされています。①②は、何か目標に向かってチャレンジした結果や、学校生活で、学習方法を自分なりに工夫したが、上手く結果に結びつかなかった場合など、原因を解明し修正し再度挑戦すれば成功する可能性も高まりますが、③については、予想できるはずの事態を予想せずに、事態を悪化させる失敗で、同じような失敗を繰り返してしまう可能性があります。今後、中間試験を皮切りに、校外学習や修学旅行と学校行事も本格的に始まっていきます。学校も、生徒たちの成長に向け、声掛け等を行ってまいります。保護者の皆様も、お子様が何かに『挑戦』しようとする際は、上記①②の場合は「見守り」を、③になりそうな場合は、早期に修正等の「対話」で、お子様の成長を見守っていただければと思います。

最後に、吹田市は地球環境に配慮した取組みの一環としまして、執務中の服装は軽装を奨励しております。本校もノーネクタイ等の軽装を推奨しておりますので、ご了解いただきますようお願いいたします。

4月行事報告

□入学式



8日（火）に第51回入学式を挙行了しました。満開の桜にも迎えられ、126名の新入生を迎えました。新2年生も参列し、歓迎の歌を披露してくれました。

□対面式



入学式・始業式に続き、生徒会主催対面式を行いました。生徒会代表の歓迎の言葉に続き、新入生代表が中学校生活への抱負を述べました。歓迎の意味も込め、鉢植えの花を各クラスに贈呈しました。

□離任式



3月31日をもって、8名の方が本校を去られました。お別れの挨拶をお一人ずつ述べていただきました。生徒代表として、生徒会長が今までお世話になった、感謝の意を伝えました。

□クラブ仮入部



1年生が15日～24日の期間、各クラブへ仮入部しました。25日には本入部を済ませ、中学校生活でのクラブ活動が始まりました。先輩たちから、技術だけでなく、様々な事を学んでください。

□全国学力・学習状況調査実施



3年生を対象に、17日に紙媒体で全国一斉に国語と数学を実施し、本校は22日にWeb方式で生徒質問調査と理科を実施しました。両日程とも、生徒たちは、真剣に取り組んでいました。

□修学旅行説明会



23日放課後、保護者対象の修学旅行説明会を実施しました。6月1日～3日の日程で、四国・岡山方面に自然体験学習をメインに実施します。行程のほか、持ち物や安全確保についても説明がありました。